

なつ 夏花新聞

夏花新聞 2016年4月号
NPO 夏花(なつぱな)
石垣市白保 158
TEL : 080-8553-8848
HP : natsupana.com
facebook.com/natsupana

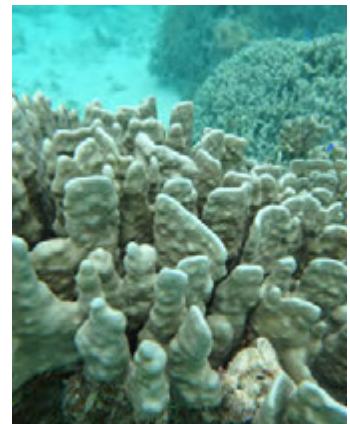
白保サンゴ礁地区保全利用協定

2015年8月26日、世界最大級のアオサンゴ群集を有する白保地区が沖縄県知事から、保全利用協定に認定されました。

保全利用協定とは、環境保全型自然体験活動を行うことを目的として、策定・締結するルールの事です。

白保地区では2005年より、観光利用が白保のサンゴに及ぼす影響を軽減することを目的とし、地元住民で起ち上げた「白保魚湧く海保全協議会」がシュノーケリング観光ルールを策定しています。それがこのたび沖縄県知事の認定を受ける事となりました。

締結事業者は、白保の先人が代々守り受け継いできた、白保のサンゴ礁とサンゴ礁文化を保全、継承するために、観光で訪れる方および地域で暮らす方々に、地域の重要な自然資源・観光資源を紹介しながら、自然の大切さ等、環境保全意識の向上を図ることを目的とし、「サンゴ礁環境の保全」、「安全の確保」、「地域との調和」、「環境の監視」に率先して取り組み、持続可能な利用に努めます。



○具体的な活動

- ・ウェットスーツやライフジャケットの着用、携帯電話等の安全装備。
- ・安全監視を徹底するとともに、参加者の異常時に直ちに救助できる装備・機材を供え、水難救助法などを身に付けます。
- ・事前に参加者の体調を確認し、無理をしないように指導します。
- ・潮流など天候の状況を説明し、安全に楽しめるよう指導します。
- ・危険生物などに対する注意についての説明を行います。
- ・協定区域内で行われる全ての自然体験、観察活動の参加者に対し、ガイドツアー前の事前説明を行い、サンゴをはじめとする海域生物へダメージを与えない、植物や生物を採取しないよう注意を促します。
- ・フィンキックの際に誤ってサンゴを破損しないように指導を徹底します。
- ・ごみは必ず持ち帰り、来たときよりもきれいにします。
- ・船舶のアイドリングや空ぶかしを禁止します。
- ・船底等（エンジンルーム等の艤装関係）の汚水を船外に捨てません。
- ・干潮時には十分な水深のあるポイントでのシュノーケルを行なうなど潮位に留意したポイントを利用します。特に、大潮の干潮時間帯などの潮位の低いときは観光客がサンゴに接触しやすい場所を避け、別のポイントでの観光を行います。
- ・アンカーを投げ入れる際は、サンゴへの影響が無い場所へ投げ入れます。
- ・白保の小学校、中学校の自然体験や環境学習に積極的に協力し、白保サンゴ礁とサンゴ礁文化の保全、継承を積極的に図ります。
- ・白保地域住民に対しても白保サンゴ礁に触れあえる機会を提供し、保全への理解と協力を促します。

【寄付の申し込み先】

- ①郵便振替 口座番号：01700-5-144439
加入者名：特定非営利活動法人夏花
②ウェブサイト www.natsupana.com/
「寄付を申込む」をクリックしてください。
【問い合わせ先】NPO 夏花事務局 (普天間) 080-8553-8848
facebook.com/natsupana





離島フェア2015に参加



黒紫米、ハーブティ、ハナミツ、油味噌、米味噌等を出品しました。白保出身のmimuriさんがデザインした日曜市のマークや商品のロゴを見て足を止めてくださるお客様もいました。

2015年11月21日～23日に那覇市の沖縄セルラーパーク那覇で行なわれた「離島フェア2015」に白保日曜市も参加しました。“心躍る！島の魅力”をテーマに離島の産業振興や地域交流等を図るのが目的で、今回で27回目の開催でした。会場には県内18離島市町村の自慢の特産品や伝統工芸品が一堂に並び、大賑わいでした。白保日曜市は初の参加です。

白保日曜市のブースが入口から一番近いということもあり、沢山の方に目にとめていただくことができました。おかげで、石垣島には白保という地域があり、白保日曜市という活動もしていることがPRできました。懐かしく思ってブースに来られた白保出身の方々、白保日曜市のfacebookを見て来られた方もいたので、白保日曜市が認知されてきていることを実感することができました。これからも、白保日曜市を盛り上げていきますので、皆さま是非お越しください！



活動報告

海と陸、両方からのサンゴ礁調査

2015年9月4日から7日に、アースウォッチジャパン主催の「石垣島白保のサンゴ礁調査～赤土堆積量と流出対策の長期モニタリングとサンゴ礁文化の体験～」が白保で行なわれ、アースウォッチジャパン、総合地球環境学研究所、しらほサンゴ村と一緒に、夏花も現地コーディネートを兼ねて、調査を行ないました。

この調査ツアーは、白保地域の自然環境の再生・修復・伝統的利用を学ぶのが目的で、サンゴ礁に影響を与える陸上からの赤土の流入を把握するため、海と陸での調査、聞き取りにボランティア12名が参加しました。

5～6年前から海での赤土調査に協力している夏花のメンバーも、赤土対策のために植えたグリーンベルトの生育調査にこの度初めて同行しました。グリーンベルトの植栽された畠の数を見て、農家の方々の理解が進んでいるということを実感しました。これからも理解者を増やせるように、継続的に赤土調査を行ない、地域の方に情報を発信していくように頑張っていきたいと思います。



畠の調査では、グリーンベルトの成長具合を測定しました。



活動報告

コーラルウォッチの実施



GPSを使って、6月に設定したサンゴを探します。

NPO夏花では、白保小学校・中学校の児童・生徒に、サンゴ礁に関する環境学習を行なっていて、2015年度は、中学2年生と一緒にコーラルウォッチを実施しています。

この調査は、白化の程度によりサンゴの健康状態をチェックするもので、サンゴの色・形・大きさ・水温を図りながら1年の成長や状況を観察していきます。1回目の観察は6月に実施。2回目の観察は9月に予定していましたが、台風により観察用のサンゴがいくつか無くなってしまうというハプニングも。新たに観察用のサンゴを決め、

継続しました。2015年は台風が多かったこともあり高水温によるサンゴへの影響はなかったようでした。

1年間を通して環境学習を行なうことで、自分たちの住む地域の自然や文化に興味・関心を持ち、将来、白保のサンゴ礁保全の担い手となってくれることを期待しています。

夏花では一緒に活動してくれる下記のスタッフを募集します。

- ①ホームステイの受け入れ家庭。
- ②グリーンベルトの為の月桃植栽をさせて頂ける畠(農家)
- ③イベントの際、一緒に活動してくれる現場スタッフ。

ご興味ある方、ご連絡お待ちしています。 NPO夏花 080-8553-8848